

NPO・きらめき広場

Tessei ● 2012 ● November ● vol.79



謹賀新年



写真提供 浅井幹夫

NPO 通信

新年明けまして
おめでとうございます

旧年中は、NPO活動にご理解ご支援をいただき有難うございました。

昨年は、東日本大震災、それに続く福島原子力発電所の原子炉溶融と、我々の思考をはるかに超える大災害が発生し、被災地復興・原子炉廃炉等は今より社会の有り様まで、様々な課題が私たちに突きつけられました。

全てを失ったという表現が過言ではない被災地の皆さんが、ふるさとの復興に強い思いを抱いて立ち向かわれる姿が報道されていますが、まさにゼロからの再出発。

歳月は要すると思いますが、きつと力強い復興が遂げられると信じます。

私たちも、支援の心をもちつづけるとともに、新たなふるさとづくりから多くのことを学びたいと考えます。

今、被災地から聞こえてくる言葉に、地域の「誇り」と人の「絆」があります。

近年、時代の変化とか時代の流れとかで片付けられ見過ごされつつあった言葉ですが、いずれも地域社会の基盤であり、決して忘れてはならない大切なものであった訳です。

年の初めに、私たちも地域の「誇り」や「絆」を大切にしたいと思いを共有し、ふるさとの明日に向かって、龍のごとく昇つてゆく年にならうと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって多岐にありあけの
心からお祈り申し上げます
平成二十四年元旦

見たい・知りたい・伝えたい!

みんなの広場

Kirarira
News

塚本 陽満さん
沖津 和秋さん
石井 齊さん

きらめき広場・哲西
図書館側入り口に見
事な門松を作ってく
だしました。

門 松



哲西中学校で環境教育講演会

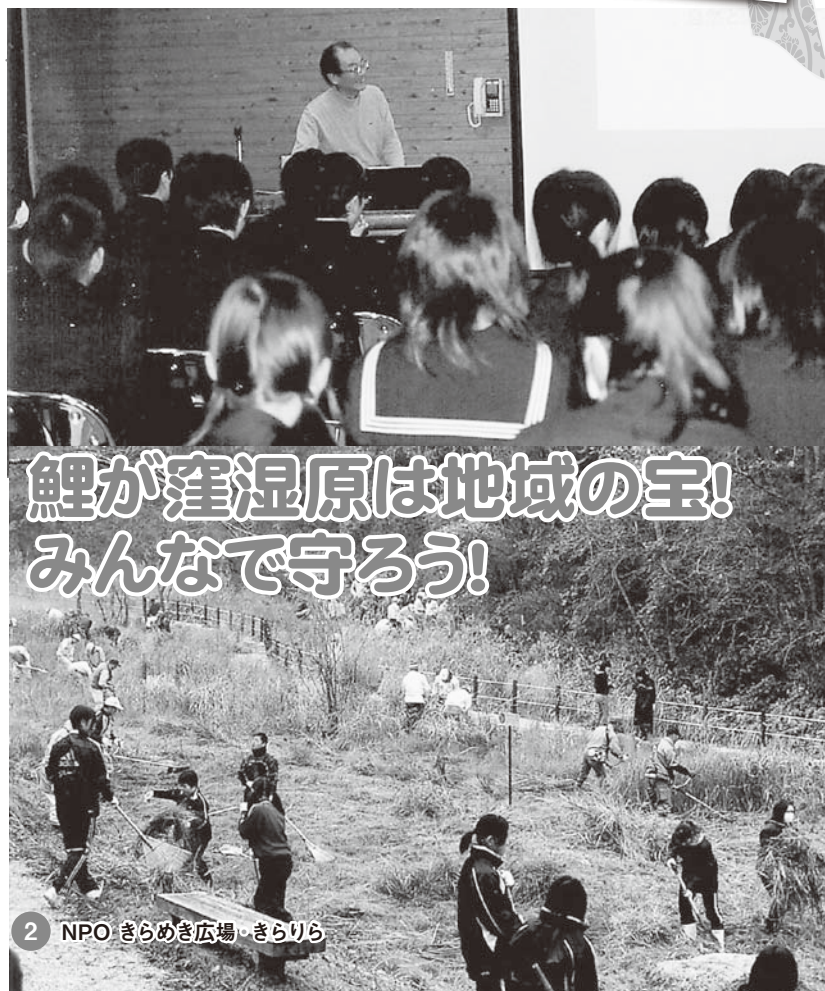
11月25日、哲西中学校で岡山理科大学の波田善夫学長を講師にお招きして「鯉が窪湿原の自然と人とのかわり」と題した講演会が行われました。

この日は、日頃から鯉が窪湿原の保全に係る人の参加もあり、共に地域の宝を守る意識を高めました。

鯉が窪湿原保全活動

11月27日、鯉が窪湿原の保全活動が行われました。

この日は、哲西中学校の生徒・保護者・教職員、新見高校生物生産科とJR新見駅の有志の方、湿原を守る会の会員、一般有志の皆さんなど総勢約150人で、草刈りや搬出など2時間の作業が行われ、ミニ湿原やその周辺が見違える程きれいになりました。



鯉が窪湿原は地域の宝!
みんなで守ろう!



矢神婦人会は11月27日、
きらめき広場・哲西調理実
習室で3世代交流の料理教
室を開催しました。
おばあちゃん、お父さん、
お母さん、子どもたちのにぎ
やかで楽しい時間！
3世代が一堂に会すること
により、地域の世代を超えた
ふれあいを深めたようです。

3世代交流 「食育型料理教室」

- 黒豆入りいなり寿司
- 大根餅
- けんちん汁
- さわやかヨーグルトサラダ
- 豆乳かぼちゃプリン

第9回

きらめき クリスマスコンサート

12月11日、きらめき広場・哲
西で「きらめきクリスマスコン
サート」が開催されました。
きらめき広場・哲西を音楽活
動の拠点し活動する愛好家の発
表の場です。人の心を癒す音楽
を通して輪が広がり、仲間が増
えることを願っています。
ぜひ皆さんも参加してください。



11月28日、きらめき広場・
哲西創作活動室で宮木さんの
指導による、お雛様作りが行
われました。
この催しは、布染め花でお馴
染みの宮木八重子さんが、「哲
西きらめきひな祭り」や「東
城まちなみぶらり散歩ギヤ
リ」に出品展示された作品が
人気となり「ぜひ、自分でも
作りたい」との声に答え行われ
たものです。
参加者は、お内裏様とお雛
様や三人官女などから自分
の作りたい作品のキッ
トを選び、和気あ
いあいとした雰囲気
で楽しい時間を過ご
しました。

綺麗なお雛様がずらり



哲西子育て広場

担当
荒木

市の委託を受けNPOきらめき広場が運営

毎週月、水、金曜日10:00~15:00

月1回土曜日10:00~12:00



12/14●ちょこっとクラフト「クリスマスの額」を作ったよ



1月の
予定

- 14日(土)10:00~12:00 子どもの健康作り勉強会2
- 16日(月)10:00~ お話会(誕生会)
- 18日(水)10:00~ ちょこっとクラフト フェルトのモビール

(申込必要) ●参加費…無料 ●申込締切り…1月14日(土)

子育てをしておられる方、どなたでも参加できますのでお子様と一緒に遊びにおいでください。みんなが楽しみな子育てをしましょう。

子育て中の方なら、どなたでも参加できます

行事に参加しなくても自由に遊べます。

歯科

内藤医師のお話

明けましておめでとーございます。今年もどうぞよろしく願っています。

みなさん、「Qさま!!!」というクイズ番組をご覧になったことがありますか?

10人の出演者がひとつのチームとなり、科目ごとに出される問題を1人ずつ順に答えてゆき、制限時間内に全員が正解できれば見事クリアーという番組なのですが、その中で、英語の単語や慣用句を日本語に訳して答える問題があります。私も、受験生の時は、「ローマは1日にして成らず」といった英語のことわざを暗記したのですが、今では、ひとつも覚えてないありさまです…。そこで今回は、「歯」(「teeth」)という言葉を使った慣用句を紹介します。

①歯をすりする grind one's teeth

「ひびくくやしがる」うづを意味します。

②歯を食うしばる grit one's teeth

「悔しさなどをぐぐぐうらえる」ことを意味します。

これら2つは、和・英文どちらも「歯」という言葉を使い、全く同じ表現でたとえています。

③歯が浮く set someone's teeth on edge

歯が浮くというのは、歯周病の代表的な症状ですが、英文を直訳すると、「いらいらして歯を噛みしめる」ということで、「歯が浮く」とは少し表現が違いますが、どちらも、「不愉快なものを見たり、不愉快なことを聞いたりした時」の体の部分の反応を意味します。

ちなみに、以前、カナダ人と話をした際、その方が、自分の健康な歯を指差して、「Good Boy (良い子)！」と表現されていたのを、興味深く覚えていました。日本語にせよ、英語にせよ、言葉の表現というのは、とても面白く、深いものだと思います。



内科

岡山大学医学部の1年生4名が1週間ずつ、当診療所で早期体験実習をされました。今号では、9月5日～9日に来られました、有吉 雪乃さんからの感想を紹介いたします。

有吉 雪乃さんより

哲西町診療所については佐藤先生の大学の講義で紹介もあったので、大体のイメージをもって実習に参加できました。それでも初めて訪れた哲西町は予想以上に田舎であったにも関わらず、すごく活気にあふれた明るいまちでした。

実習初日に血圧測定の方法を教わりました。なかなかうまくできませんでしたが、一週間を通じて血圧測定を通して、たくさんのお患者さんと会話ができたことがとてもよかったです。

新見市長・副市長さんの講義では、行政の立場からとらえた医療についての考え方を知り、とても興味深く感じました。今回は医療従事者だけでなく、行政、保健、福祉、教育など、様々な分野の方々の話を聞くことができました。いろいろな視点からとらえた医療の姿や、ただ医学だけを学んでは知りえなかった、それぞれの分野についての説明

を受け、自分の中にたくさんの方の視点が生まれたと思います。医療が特別に存在しているのではなく、行政や教育などと並立して、そのどれもが生活の上で重要となっていくのだとも実感しました。どうしても自分の専門分野ばかりを扱っていると、他の分野のことを忘れがちになるので、今回の実習で様々な視点に触れ、それによって連携の必要性を実感できました。私にとっては最も大きな収穫になったと思います。

地域医療の大きな特色ともいえる訪問診療・往診に何度か同行させていただきました。高齢者の多い地域では特に、状態が悪くても動けないために病院に行くことができない人も多いと思います。やはり、訪問診療があると安心感が全く違うと思います。行き帰りに時間もかかるし、診ることのできる患者さんの数はどうしても限られてしまうのですが、訪問診療の必要性はそれにも勝るのではないかと思います。

消防署や看護師さんの仕事について講義を受けた際、資格上、医師は何でもできることになっており、他の職種をカバーできるはずですが、実際は他の職種に助けてもらうことが多いのだということを知りました。医師にしかできない診察をきちんと

やらなければいけないというののももちろんですが、何をするにしても一人でできることには限界があるということが大きな原因だと思っています。私が出たコメディカル（医師以外の医療従事者）でなく、医師を目指したことは、医師なら他の職種の分までできるとというのが主な理由だったので、自分の認識の甘さを感じました。ここもやはり、他の職種との連携の大切さを実感しました。

診療所にある機器をたくさん触らせてもらいましたし、心音なども聞かせてもらい、医師をずっと身近に感じる事ができました。特に実際の診療の様子を見ているのが一番モチベーションの向上につながりました。

訪問診療の移動中やいろいろなことに佐藤先生をはじめ、たくさんの方の話を聞くことができ、濃密な実習ができました。特に、目の前の患者さんに対して、誠実に診察・処置するという姿勢が現在の哲西のように町づくりにまでつながってくる、という話が印象に残っています。今後にしっかり生かしていきたい言葉です。

予想していた以上にたくさんの方の貴重な経験・体験ができました。昨年の先輩方の「行つてよかった」という言葉さえ疑いながら取り組み始め

た実習でしたが、終わってみると、本当に行つてよかったです。また、たくさんの方の話を教えていただきながらも、知識が不十分なために理解しきれない場面が多々あり、本当に悔しい思いを何度もしました。この悔しさをこれから続く座学にきちんとぶつけて、励みにしていきたいと思っています。



1月の担当医表

(岡山光生病院から)

10日(火)	藤原(内科)	消化器(内視鏡)
17日(火)	土持(外科)	腹部外科・血管外科
24日(火)	高畑(内科)	呼吸器・循環器
31日(火)	池田(外科)	外傷外科・胸部外科

*理学療法士によるリハビリは毎週火曜日です。

*受診希望の方は、あらかじめご連絡ください。



認定
こども
園

クリスマス

サンタさんといっしょに
はい!ポーズ☆

老人クラブのひと
と一緒に、おもちゃつきを
しました。

おいし〜いね!

べったん べったん!

ほかほかの焼きもち



12月9日(金)野馳小学校に、NHK岡山放送局の職員4名が来校。高学年児童対象の出前講座をしてくださいました。講座の内容は、テレビの仕組みや映像の作り方を始め、放送局の仕事についてでした。お話を聞いた後、児童は交替でアナウンサー役やカメラマン役を経験させてもらいました。講座開始直後は緊張していた児童たちでしたが、しだいにうちとけ、楽しく体験したり質問したりしていました。児童が積極的に質問をしたので、NHKの皆さんも喜んでいました。

NHKの出前講座

野馳
小学校



矢神
小学校

津波被災地の子ども
たちにアイガモ米を



◀袋に貼ったシール

去る12月9日、本校で今年収穫したアイガモ米を、一袋5合にして300袋、東日本大震災の津波で大きな被害を受けた学校に送りました。

送り先は、宮城県東松島市立赤井南小学校(児童数247名)という学校です。津波により、九割以上の子どもたちの家が全壊や半壊の状態だったそうです。

本校では、職員・子どもたち全員が支援米を送ることに賛同し、5・6年生の子どもたちが袋詰めをしたり、応援メッセージを書いてくれたりしました。子どもたちや職員の温かい心に感謝すると共に、被災地の子どもたちを今後とも応援したいと思っています。

哲西
中学校

人権週間の
取り組み



12月4日〜10日は、人権週間です。そこで哲西中学校では、12月5日に全学年対象に人権集会を行いました。

最初に、文化委員による人権標語の優秀作品の発表と表彰式がありました。あらかじめ募集していた人権標語には、生徒一人ひとりの思いがたくさんつまっていました。

次に「明るく・楽しい学級、学校にするには…」というテーマで、どのようにすれば良いかということと各学年のグループで考え、発表しました。意見の中には「二人ひとりが平等に接する」や「相手のことを考え、一人ひとりが助け合おう」、「言葉を発表する前に一度考えて人と話をする」などがありました。

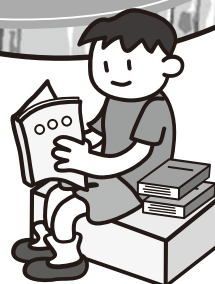
この集会を通して、生徒の一人ひとりが、友だちを思いやる心やより充実した学校生活を送りたいという気持ちで伝わってきました。



図書館 だより

新見市立哲西図書館
TEL94-2110 FAX94-2100

休館日のお知らせ
・ 年中無休です
[年末年始、蔵書点検日を除く]



今月の展示本

◎展示コーナー〈世界遺産〉

現在国内では以下の12件の文化遺産と4件の自然遺産合計16件が登録されています。

日本の世界遺産リスト(日本ユネスコ協会連盟)

- ①知床 ②白神山地 ③平泉の文化遺産
- ④日光の社寺 ⑤小笠原諸島
- ⑥白川郷・五箇山の合掌造り集落
- ⑦古都京都の文化財 ⑧古都奈良の文化財
- ⑨法隆寺地域の仏教建造物
- ⑩紀伊山地の霊場と参詣道
- ⑪姫路城
- ⑫原爆ドーム(広島の平和記念碑)
- ⑬厳島神社 ⑭石見銀山遺跡とその文化的景観
- ⑮屋久島 ⑯琉球王国のグスクおよび関連遺産群

◎児童コーナー〈冬〉

寒い冬でも心が温まるような楽しい本を展示しています。



哲西荘の展示

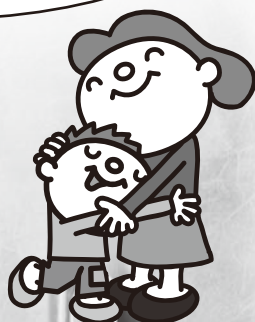
哲西荘のみなさんが、掲示してくださいました。
いつもありがとうございます。

哲西図書館利用者の ための乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日10:00~12:00
きらめき広場・哲西プレイルーム

子ども映画会

日時 1月14日(土)14:00~
場所 きらめき広場・哲西
哲西図書館
ブラウジングコーナー
内容 DVD 世界名作劇場
「母をたずねて三千里」



哲西図書館
年末年始の
休館日

12/29(木)~1/3(火)

1月4日(水)9:00から平常どおり開館いたします。



●ご寄付ありがとうございました

(敬称略)

■香典返し

○麻月 弘治(亡父邦男) 矢田
老人クラブ白菊会へ金一封

■退院内祝い

○加藤 英郎(本人) 矢田
老人クラブ白菊会へ金一封
○西川由利子(本人) 上神代
老人クラブ協和会へ金一封
○安田 茂(本人) 上神代
老人クラブ協和会へ金一封

●哲西荘へご寄付 (敬称略) ありがとうございました

■見舞返し

○藤間雄士(本人) 金一封 畑木

■一般寄付

○名越 直文 金一封 田淵
○花田 百枝 介護用品 矢田
○森前 勇 みかん 老栄
○田口石油興業(株) 山陽新聞
○松陽産業(株) 備北民報
○妹尾観光バス・妹尾タクシー 備北民報



漫画年賀状 コンテスト2012

笑う門には福来る。ちょっと気の利いた
マンガ年賀状で、新春の笑い初め!!

募集締切 平成24年1月10日(当日消印有効)

募集テーマ 2012年干支「辰(たつ)」

応募資格 年齢問わず。プロ漫画家は除く。

応募作品

テーマに沿ったユニークな漫画年賀状を募集します。用紙は官製はがき又は官製はがきサイズ(100mm×148mm)のケント紙・画用紙など。縦横自由、着色自由、漫画的要素のある絵手紙風作品なども可。パソコンによるCG作品も可(素材集使用は不可、自作に限る)。

記入事項 ハガキ宛名面(裏面)に郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、職業(学校名)、電話番号を明記すること。

審査員 漫画家 南 一平(みなみいっぺい)

賞 漫・画・大賞 1点 3万円
漫・画・準大賞 1点 1万円
漫・画・優秀賞 10点 川上町特産品
審査・発表 平成24年1月下旬(予定)
応募先 〒716-0201
岡山県高梁市川上町地頭1834
吉備川上ふれあい漫画美術館
「漫・画・年賀状コンテスト」係

注意事項 応募作品は、返却できません。応募作品のすべてについて、著作権など諸権利は高梁市に帰属します。また応募規定に違反したり、盗作又はきわめて類似している作品は選考からはずします。

主催 高梁市教育委員会
吉備川上ふれあい漫画美術館
問合わせ 吉備川上ふれあい漫画美術館
TEL(0866)48-3664

きらめき福祉移送Q&A



Q登録すれば誰でも利用できますか?

Aいいえ。利用対象者は限られています。

新見市内に住所を有する方で、事前に利用者として登録された、次に掲げる移動困難者及びその付添人に限られています。

○身体障害者 ○介護保険による要介護認定者
○要支援認定者、肢体不自由者、内部障害(人工血液透析を受けている場合を含む)、精神障害、知的障害等により単独での移動が困難な者であって、単独では公共交通機関を利用することが困難な方

Qタクシーとの違いは?

A外出全体をサポートします。2日前までにご予約ください。
タクシー運賃の半分程度の費用で自宅から買い物、通院など

の用事を済ませて帰宅するまでの移動と介助を引き受けます。
○出発地または到着地のどちらかが新見市内でなければいけません。
○目的地までの片道利用を希望の方は相談に応じますのでご連絡ください。
Qなぜ2日前までに予約がいるのですか?
Aこの事業の許可条件であるためと、運転手の手配のためです。(予約の都度、ボランティア運転手へお願いしていますのでご理解ください)
Q登録するにはどうしたらいいですか?
A登録申請書を書いていただきます。
申請書はNPO事務局へ備えてあります。お電話で住所を教えていただければ郵送で手続きをすることもできます。
○登録認定までは、申請書をNPO事務局へ提出していただいてから約1週間かかります。

問合せ先

NPOきらめき広場 事務局 〒719-3701岡山県新見市哲西町矢田3604
TEL(0867)94-2143 or 090-8994-7068 FAX(0867)94-2100
HP:<http://www.npo-kirameki.jp/> E-mail:post@npo-kirameki.jp